

国語科年間指導計画【論理国語】

■単位数

3単位

■使用教科書

新編論理国語（大修館書店）

■目標

言葉による見方・考え方を働かせ、言語活動を通して、国語で的確に理解し効果的に表現する資質・能力を次のとおり育成することを目指す。

- (1) 実社会に必要な国語の知識や技能を身に付けるようにする。
(2) 論理的、批判的に考える力を伸ばすとともに、創造的に考える力を養い、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。
(3) 言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚を深め、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。

■内容

〔知識及び技能〕
(1) 言葉の特徴や使い方に關する次の事項を身に付けることができるよう指導する。
ア言葉には、言葉そのものを認識したり説明したりすることを可能にする働きがあることを理解すること。
イ論証したり学術的な学習の基礎を学んだりするために必要な語句の量を増し、文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにすること。
ウ文や文章の効果的な組立て方や接続の仕方について理解を深めること。
エ文章の種類に基づく効果的な段落の構造や論の形式など、文章の構成や展開の仕方について理解を深めること。
(2) 文章に含まれている情報の扱い方に關する次の事項を身に付けることができるよう指導する。
ア主張とその前提や反証など情報と情報との関係について理解を深めること。
イ情報を重要度や抽象度などによって階層化して整理する方法について理解を深め使うこと。
ウ推論の仕方について理解を深め使うこと。
(3) 我が国の言語文化に關する次の事項を身に付けることができるよう指導する。
ア新たな考えの構築に資する読書の意義と効用について理解を深めること。
〔思考力、判断力、表現力等〕
A 書くこと
ア実社会や学術的な学習の基礎に關する事柄について、書き手の立場や論点などの様々な観点から情報を収集、整理して、目的や意図に応じた適切な題材を決めること。
イ情報の妥当性や信頼性を吟味しながら、自分の立場や論点を明確にして、主張を支える適切な根拠をそろえること。
ウ立場の異なる読み手を説得するために、批判的に読まれることを想定して、効果的な文章の構成や論理の展開を工夫すること。
エ多面的・多角的な視点から自分の考えを見直したり、根拠や論拠の吟味を重ねたりして、主張を明確にすること。
オ個々の文の表現の仕方や段落の構造を吟味するなど、文章全体の論理の明晰さを確かめ、自分の主張が的確に伝わる文章になるよう工夫すること。
カ文章の構成や展開、表現の仕方などについて、自分の主張が的確に伝わるように書かれているかなどを吟味して、文章全体を整えたり、読み手からの助言などを踏まえて、自分の文章の長や短を直したりすること。
B 読むこと
ア文章の種類を踏まえて、内容や構成、論理の展開などを的確に捉え、論点を明確にしなが重要を把握すること。
イ文章の種類を踏まえて、資料との関係を把握し、内容や構成を的確に捉えること。
ウ主張を支える根拠や結論を導く論拠を批判的に検討し、文章や資料の妥当性や信頼性を吟味して内容を解釈すること。
エ文章の構成や論理の展開、表現の仕方について、書き手の意図との関係において多面的・多角的な視点から評価すること。
オ関連する文章や資料を基に、書き手の立場や目的を考えながら、内容の解釈を深めること。
カ人間、社会、自然などについて、文章の内容や解釈を多様な論点や異なる価値観と結び付けて、新たな観点から自分の考えを深めること。
キ設定した題材に関連する複数の文章や資料を基に、必要な情報を関係付けて自分の考えを広げたり深めたりすること。

■評価の観点とその趣旨

(1) 知識・技能	実社会に必要な国語の知識や技能を身に付けている。
(2) 思考・判断・表現	「書くこと」、「読むこと」の各領域において、論理的、批判的に考える力を伸ばすとともに、創造的に考える力を養い、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりしている。
(3) 主体的に学習に取り組む態度	言葉を通じて積極的に他者と関わったり、思いや考えを深めたりしながら、言葉のもつ価値への認識を深めようとしているとともに、進んで読書に親しみ、言葉を効果的に使おうとしている。

■指導計画

月	単元名	知識及び技能			思考力、判断力、表現力等										言語活動	教材	評価の観点及び評価方法	配当 予定 時数				
		(1)			(2)			(3)	書くこと					読むこと								
		アイ	ウ	エ	アイ	ウ	ア		アイ	ウ	エ	オ	カ	アイ					ウ	エ	オ	カ
4	自己を見つめて	●										●						「書くこと」 (2) ア	補助線を引ながら考える	(1) 小テスト・定期テスト (2) 定期テスト・ワークシート (3) ワークシート・振り返りシート	6	
			●								●								自分を客観的に見つめよう		4	
5	思考を深める			●									●					「読むこと」 (2) エ	ミロのヴィーナス	(1) 小テスト・定期テスト (2) 定期テスト・ワークシート	8	
					●							●							根拠を吟味しよう		4	
6	社会に向かって		●												●			「読むこと」 (2) オ	志望先への提出書類	(1) ワークシート (2) 成果物・振り返りシート	8	
				●						●									「書くこと」 (2) イ	志望理由書を書こう		
7	視点を変えて					●						●						「書くこと」 (2) イ	クオリアと心	(1) 小テスト・定期テスト (2) 定期テスト・ワークシート	7	
		●											●						ロボットに心はあるか		7	
8 9	問いを深めて書く		●				●											「読むこと」 (2) イ 「書くこと」 (2) ウ	問いを立てて書こう	(1) 成果物・振り返りシート	10	
					●										●				政治の本質	(1) 小テスト・定期テスト (2) 定期テスト・ワークシート	8	
10	現代を考える																	「書くこと」 (2) エ	「である」と「する」こと	(1) 小テスト・定期テスト (2) 定期テスト・ワークシート	10	
				●												●			話し合って考えを深めよう	(1) ワークシート・学習ノート	4	
11	問いを深めて書く			●				●										「読むこと」 (2) イ 「書くこと」 (2) ウ	文章を読んで書こう	(1) 成果物・振り返りシート	7	
		●				●													人口減少社会の到来	(1) 小テスト・定期テスト (2) 定期テスト・ワークシート	8	
12 1	未来に目を向けて		●											●				「読むこと」 (2) イ 「書くこと」 (2) ウ	未来の地図帳	(1) 小テスト・定期テスト (2) 定期テスト・ワークシート	8	
							●												身近な課題に取り組み、社会に提言しよう	(1) ワークシート・学習ノート	6	

国語科年間指導計画【文学国語】

■単位数

2単位

■使用教科書

新編文学国語（大修館書店）

■目標

言葉による見方・考え方を働かせ、言語活動を通して、国語で的確に理解し効果的に表現する資質・能力を次のとおり育成する。

- (1) 生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、我が国の言語文化に対する理解を深めることができるようにする。
- (2) 論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。
- (3) 言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。

■内容

〔知識及び技能〕

(1) 言葉の特徴や使い方に関する次の事項を身に付けることができるよう指導する。

- ア 言葉には、想像や心情を豊かにする働きがあることを理解すること。
 イ 情景の豊かさや心情の機微を表す語句の量を増し、文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにすること。
 ウ 文学的な文章やそれに関する文章の種類や特徴などについて理解を深めること。
 エ 文学的な文章における文体の特徴や修辞などの表現の技法について、体系的に理解し使うこと。

(2) 我が国の言語文化に関する次の事項を身に付けることができるよう指導する。

- ア 文学的な文章を読むことを通して、我が国の言語文化の特質について理解を深めること。
 イ 人間、社会、自然などに対するものの見方、感じ方、考え方を豊かにする読書の意義と効用について理解を深めること。
 〔思考力、判断力、表現力等〕

A 書くこと

ア 文学的な文章を書くために、選んだ題材に応じて情報を収集、整理して、表現したいことを明確にすること。

イ 読み手の関心が得られるよう、文章の構成や展開を工夫すること。

ウ 文体的特徴や修辞の働きなどを考慮して、読み手を引き付ける独創的な文章になるよう工夫すること。

エ 文章の構成や展開、表現の仕方などについて、伝えたいことや感じてもらいたいことが伝わるように書かれているかなどを吟味して、文章全体を整えたり、読み手からの助言などを踏まえて、自分の文章の特質や課題を捉え直したりすること。

B 読むこと

ア 文章の種類を踏まえて、内容や構成、展開、描写の仕方などを的確に捉えること。

イ 語り手の視点や場面の設定の仕方、表現の特色について評価することを通して、内容を解釈すること。

ウ 他の作品と比較するなどして、文体的特徴や効果について考察すること。

エ 文章の構成や展開、表現の仕方を踏まえ、解釈の多様性について考察すること。

オ 作品に表れているものの見方、感じ方、考え方を捉えるとともに、作品が成立した背景や他の作品などとの関係を踏まえ、作品の解釈を深めること。

カ 作品の内容や解釈を踏まえ、人間、社会、自然などに対するものの見方、感じ方、考え方を深めること。

キ 設定した題材に関連する複数の作品などを基に、自分のものの見方、感じ方、考え方を深めること。

■評価の観点とその趣旨

(1) 知識・技能	生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、我が国の言語文化に対する理解を深めることができるようにしている。
(2) 思考・判断・表現	「書くこと」、「読むこと」の各領域において、論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにしている。
(3) 主体的に学習に取り組む態度	言葉を通じて積極的に他者と関わったり、思いや考えを深めたりしながら、言葉のもつ価値への認識を深めようとしているとともに、進んで読書に親しみ、言葉を効果的に使おうとしている。

■指導計画

月	単元名	知識及び技能				思考力、判断力、表現力等								言語活動	教材	評価の観点及び評価方法	配当 予定 時数		
		(1)			(2)	書くこと				読むこと									
		ア	イ	ウ	エ	ア	イ	ウ	エ	ア	イ	ウ	エ					オ	カ
4	作品の心情を読み取ろう 文体の特徴や比喩の効果について考える	●					●								内容と表現に着目してエッセイを読み、作品が雑誌掲載に相応しい理由を書く。	「くるみの小部屋」	(1) ワークシート、定期テスト (2) ワークシート、定期テスト (3) ノート	2	
5	登場人物の視点や表現の特色に注目し、その働きを意識する	●								●					セリフを登場人物と役割に合った調子や速度を工夫して音読する	「待合室」	(1) ワークシート (2) ワークシート (3) ノート	4	
	登場人物の考え方や生き方について、時代背景をふまえて考える		●											●	小説のタイトルが「おぼろ月」とされた意図について考えよう	「おぼろ月」	(1) ワークシート、定期テスト (2) ワークシート、定期テスト (3) ノート	4	
6	登場人物の設定や描写の仕方をとらえ、読みを深める				●									●	「桐壺」の登場人物の関係を整理しよう	「桐壺」	(1) ワークシート、定期テスト (2) ワークシート、定期テスト (3) ノート	2	
7	引用された作品を読み、筆者の主張を確かめる	●									●			●	原作と改作の違い、原作のよさを考えよう	「共感と驚異」	(1) ワークシート、定期テスト (2) ワークシート、定期テスト (3) ノート	4	
	本の世界を広げる 面白さを人に伝える					●					●				ビブリオバトル 本を紹介する	一番好きな書籍	(1) ワークシート (2) ワークシート (3) ノート	4	
7																			
9	短歌・俳句を詠み味わう	●										●			一番良いと思った作品を紹介する	「短歌」「俳句」	(1) ワークシート、定期テスト (2) ワークシート、定期テスト (3) 一振り返しシート	6	
	短歌・俳句を作ろう 一材料を吟味し表現するー				●					●					感じたことや発見したことを短歌や俳句で表現する	「短歌」「俳句」	(1) ワークシート、定期テスト (2) ワークシート、定期テスト (3) 一振り返しシート	3	
10	話のおもしろさと、そこに込められた寓意を読み味わう			●			●								小説にはどのような寓意が込められているか考えをまとめる	「山椒魚」	(1) ワークシート (2) ワークシート (3) ノート	8	
11	漢文の表現に着目し、主人公の心情を読み取る				●									●	史記の文学史を理解し、項王の心情を読み取る	「四面楚歌」	(1) ワークシート、定期テスト (2) ワークシート、定期テスト (3) 一振り返しシート	8	
	優れた表現に触れ、読み味わう		●											●	表現について、効果や意味を考える	「こころ」		14	
12	さまざまな小説を読み、構成や工夫を読み取り、作品を生み出す			●				●							身近なものを班で一つ決め、それを題材とした話を書いてみよう	「私たちの黄色」 「タイムリミット」	(1) ワークシート、定期テスト (2) ワークシート、定期テスト (3) 一振り返しシート	7	
1																			
2																			
3																			

□「書くこと」に関する指導の予定単位時間数

……

20

時間（15～20単位時間程度）

□「読むこと」の近代以降の文章に関する指導の予定単位時間数

……

50

時間（50～55単位時間程度）

国語科年間指導計画【論理国語演習】

■単位数

2単位

■使用教科書

テーマ別 論理国語 ベストクリア2（尚文出版）

■目標

言葉による見方・考え方を働かせ、言語活動を通して、国語的的確に理解し効果的に表現する資質・能力を次のとおり育成することを目指す。

- (1) 実社会に必要な国語の知識や技能を身に付けるようにする。
- (2) 論理的、批判的に考える力を伸ばすとともに、創造的に考える力を養い、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。
- (3) 言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚を深め、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。

■内容

〔知識及び技能〕
 (1) 言葉の特徴や使い方に関する次の事項を身に付けることができるよう指導する。
 ア 言葉には、言葉そのものを認識したり説明したりすることを可能にする働きがあることを理解すること。
 イ 論じたり学術的な学習の基礎を学んだりするために必要な語句の量を増し、文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにすること。
 ウ 文や文章の効果的な組立て方や接続の仕方について理解を深めること。
 エ 文章の種類に基づく効果的な段落の構造や論の形式など、文章の構成や展開の仕方について理解を深めること。
 (2) 文章に含まれている情報の扱い方に関する次の事項を身に付けることができるよう指導する。
 ア 主張とその前提や反証など情報と情報との関係について理解を深めること。
 イ 情報を重要度や抽象度などによって階層化して整理する方法について理解を深め使うこと。
 ウ 推論の仕方について理解を深め使うこと。
 (3) 我が国の言語文化に関する次の事項を身に付けることができるよう指導する。
 ア 新たな考えの構築に資する読書の意義と効用について理解を深めること。
 (思考力、判断力、表現力等)
 A 書くこと
 ア 実社会や学術的な学習の基礎に関する事柄について、書き手の立場や論点などの様々な観点から情報を収集、整理して、目的や意図に応じた適切な題材を決めること。
 イ 情報の妥当性や信頼性を吟味しながら、自分の立場や論点を明確にして、主張を支える適切な根拠をそろえること。
 ウ 立場の異なる読み手を説得するために、批判的に読まれることを想定して、効果的な文章の構成や論理の展開を工夫すること。
 エ 多面的・多角的な視点から自分の考えを見直したり、根拠や論拠の吟味を重ねたりして、主張を明確にすること。
 オ 個々の文の表現の仕方や段落の構造を吟味するなど、文章全体の論理の明晰さを確かめ、自分の主張が的確に伝わる文章になるよう工夫すること。
 カ 文章の構成や展開、表現の仕方などについて、自分の主張が的確に伝わるように書かれているかなどを吟味して、文章全体を整えたり、読み手からの助言などを踏まえて、自分の文章の特長や課題を捉え直したりすること。
 B 読むこと
 ア 文章の種類を踏まえて、内容や構成、論理の展開などを的確に捉え、論点を明確にしながら要旨を把握すること。
 イ 文章の種類を踏まえて、資料との関係を把握し、内容や構成を的確に捉えること。
 ウ 主張を支える根拠や結論を導く論拠を批判的に検討し、文章や資料の妥当性や信頼性を吟味して内容を解釈すること。
 エ 文章の構成や論理の展開、表現の仕方について、書き手の意図との関係において多面的・多角的な視点から評価すること。
 オ 関連する文章や資料を基に、書き手の立場や目的を考えながら、内容の解釈を深めること。
 カ 人間、社会、自然などについて、文章の内容や解釈を多様な論点や異なる価値観と結び付けて、新たな観点から自分の考えを深めること。
 キ 設定した題材に関連する複数の文章や資料を基に、必要な情報を関係付けて自分の考えを広げたり深めたりすること。

■評価の観点とその趣旨

(1) 知識・技能	実社会に必要な国語の知識や技能を身に付けている。
(2) 思考・判断・表現	「書くこと」、「読むこと」の各領域において、論理的、批判的に考える力を伸ばすとともに、創造的に考える力を養い、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりしている。
(3) 主体的に学習に取り組む態度	言葉を通じて積極的に他者と関わったり、思いや考えを深めたりしながら、言葉のもつ価値への認識を深めようとしているとともに、進んで読書に親しみ、言葉を効果的に使おうとしている。

■指導計画

月	単元名	知識及び技能			思考力、判断力、表現力等								言語活動	教材	評価の観点及び評価方法	配当 予定 時数	
		(1)	(2)	(3)	書くこと				読むこと								
		アイウエ	アイウ	ア	アイウエオカ	アイウエオカキ	アイウエオ										
4	テーマ1 社会	●							●				「読むこと」 (2) ア	1 国家の品格	(1) 定期テスト・小テスト (2) 定期テスト・ノート (3) (1)と(2)への取り組み	3	
		●								●				「読むこと」 (2) イ	2 試験の秘密	(1) 定期テスト・小テスト (2) 定期テスト・ノート (3) (1)と(2)への取り組み	3
			●								●			「読むこと」 (2) ウ	3 変わる国・日本へ	(1) 定期テスト・小テスト (2) 定期テスト・ノート (3) (1)と(2)への取り組み	2
5			●									●		「読むこと」 (2) エ	4 笑い学のすすめ	(1) 定期テスト・小テスト (2) 定期テスト・ノート (3) (1)と(2)への取り組み	3
		●											●	「読むこと」 (2) オ	5 哲学の現在	(1) 定期テスト・小テスト (2) 定期テスト・ノート (3) (1)と(2)への取り組み	3
6	テーマ2 言語・文化	●											●	「読むこと」 (2) カ	6 縦に書き！	(1) 定期テスト・小テスト (2) 定期テスト・ノート (3) (1)と(2)への取り組み	3
					●								●	「読むこと」 (2) キ	7 日本語を叱る！	(1) 定期テスト・小テスト (2) 定期テスト・ノート (3) (1)と(2)への取り組み	3
7				●		●							「書くこと」 (2) ア	8 行儀よくしろ。	(1) 定期テスト・小テスト (2) 定期テスト・ノート (3) (1)と(2)への取り組み	4	
9			●						●				「読むこと」 (2) ア	9 環境問題の基本のキホン	(1) 定期テスト・小テスト (2) 定期テスト・ノート (3) (1)と(2)への取り組み	3	
				●						●			「読むこと」 (2) イ	10 地球システムの崩壊	(1) 定期テスト・小テスト (2) 定期テスト・ノート (3) (1)と(2)への取り組み	3	
10	テーマ3 科学・環境・医療	●				●							「書くこと」 (2) イ	11 森林と自然	(1) 定期テスト・小テスト (2) 定期テスト・ノート (3) (1)と(2)への取り組み	4	
			●								●		「読むこと」 (2) ウ	12 科学者心得帳	(1) 定期テスト・小テスト (2) 定期テスト・ノート (3) (1)と(2)への取り組み	2	
11			●								●		「読むこと」 (2) エ	13 生物多様性を問いなおす	(1) 定期テスト・小テスト (2) 定期テスト・ノート (3) (1)と(2)への取り組み	3	
				●				●					「書くこと」 (2) エ	14 疾走する精神	(1) 定期テスト・小テスト (2) 定期テスト・ノート (3) (1)と(2)への取り組み	4	
12	テーマ4 思想・芸術	●										●	「読むこと」 (2) オ	15 荷風を読んで	(1) 定期テスト・小テスト (2) 定期テスト・ノート (3) (1)と(2)への取り組み	3	
			●				●						「書くこと」 (2) ウ	16 いまを生きるちから	(1) 定期テスト・小テスト (2) 定期テスト・ノート (3) (1)と(2)への取り組み	4	
				●								●	「読むこと」 (2) カ	17 ぬくみ	(1) 定期テスト・小テスト (2) 定期テスト・ノート (3) (1)と(2)への取り組み	3	
				●								●	「読むこと」 (2) キ	18 教育力	(1) 定期テスト・小テスト (2) 定期テスト・ノート (3) (1)と(2)への取り組み	3	
		●							●				「読むこと」 (2) ア	19 ローマから日本が見える	(1) 定期テスト・小テスト (2) 定期テスト・ノート (3) (1)と(2)への取り組み	3	
1	テーマ5 教育・政治・福祉		●							●			「読むこと」 (2) イ	20 老いる準備	(1) 定期テスト・小テスト (2) 定期テスト・ノート (3) (1)と(2)への取り組み	2	
					●			●					「書くこと」 (2) オ	21 民主主義とは何か	(1) 定期テスト・小テスト (2) 定期テスト・ノート (3) (1)と(2)への取り組み	4	
2					●				●				「書くこと」 (2) カ	22 「サル化」する人間社会	(1) 定期テスト・小テスト (2) 定期テスト・ノート (3) (1)と(2)への取り組み	5	

「A書くこと」に関する指導の予定単位数

25

「B読むこと」に関する指導の予定単位数

45

国語科年間指導計画【古典探究】

■単位数	■使用教科書
2 単位	精選古典探究（第一学習社）
■目標	

言葉による見方・考え方を働かせ、言語活動を通して、国語的確に理解し効果的に表現する資質・能力を次のとおり育成することを目指す。 (1)生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、我が国の伝統的な言語文化に対する理解を深めることができるようにする。 (2)論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、古典などを通した先人のものの見方、感じ方、考え方との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。 (3)言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって古典に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚を深め、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。

■内容
〔知識及び技能〕 (1)言葉の特徴や使い方に関する次の事項を身に付けることができるよう指導する。 ア古典に用いられている語句の意味や用法を理解し、古典を読むために必要な語句の量を増すことを通して、語感を磨き語彙を豊かにすること。 イ古典の作品や文章の種類とその特徴について理解を深めること。 ウ古典の文の成分の順序や照応、文章の構成や展開の仕方について理解を深めること。 エ古典の作品や文章に表れている、言葉の響きやリズム、修辞などの表現の特色について理解を深めること。 (2)我が国の言語文化に関する次の事項を身に付けることができるよう指導する。 ア古典などを読むことを通して、我が国の文化の特質や、我が国の文化と中国など外国の文化との関係について理解を深めること。 イ古典を読むために必要な文語のきまりや訓読のきまりについて理解を深めること。 ウ時間の経過による言葉の変化や、古典が現代の言葉の成り立ちにもたらした影響について理解を深めること。 エ先人のものの見方、感じ方、考え方に親しみ、自分のものの見方、感じ方、考え方を豊かにする読書の意義と効用について理解を深めること。 〔思考力、判断力、表現力等〕 A 読むこと (1)読むことに関する次の事項を身に付けることができるよう指導する。 ア文章の種類を踏まえて、構成や展開などを的確に捉えること。 イ文章の種類を踏まえて、古典特有の表現に注意して内容を的確に捉えること。 ウ必要に応じて書き手の考えや目的、意図を捉えて内容を解釈するとともに、文章の構成や展開、表現の特色について評価すること。 エ作品の成立した背景や他の作品などとの関係を踏まえながら古典などを読み、その内容の解釈を深め、作品の価値について考察すること。 オ古典の作品や文章について、内容や解釈を自分の知見と結び付け、考えを広げたり深めたりすること。 カ古典の作品や文章などに表れているものの見方、感じ方、考え方を踏まえ、人間、社会、自然などに対する自分の考えを広げたり深めたりすること。 キ関心をもった事柄に関連する様々な古典の作品や文章などを基に、自分のものの見方、感じ方、考え方を深めること。 ク古典の作品や文章を多面的・多角的な視点から評価することを通して、我が国の言語文化について自分の考えを広げたり深めたりすること。

■評価の観点とその趣旨	
(1) 知識・技能	生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、我が国の伝統的な言語文化に対する理解を深めることができる。
(2) 思考・判断・表現	「読むこと」の領域において、論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、古典などを通した先人のものの見方、感じ方、考え方との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができる。
(3) 主体的に学習に取り組む態度	言葉を通じて積極的に他者と関わったり、思いや考えを深めたりしながら、言葉のもつ価値への認識を深めようとしているとともに、古典に親しむことで自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚を深めることができる。

指導計画																												
月	単元名	知識及び技能								思考力、判断力、表現力等								言語活動								教材	評価の観点及び評価方法	配当 予定 時数
		(1)				(2)				読むこと																		
		ア	イ	ウ	エ	ア	イ	ウ	エ	ア	イ	ウ	エ	オ	カ	キ	ク											
4	和歌		●					●							●											古今和歌集（仮名序・名歌）	(1) ワークシート、定期テスト (2) 振り返りシート	4
	説話（二）	●						●		●																発心集 叡実、路頭の病者を憐れむ事	(1) ワークシート、定期テスト (2) 振り返りシート	3
5	逸話	●					●					●														不顧後患	(1) ワークシート、定期テスト (2) 振り返りシート	4
																		A読むこと（2）ア、オ				蛭蜂の故事	(1) ワークシート、振り返りシート	2				
6	随筆（三）		●			●							●													枕草子 雪のいと高う降りたるを	(1) ワークシート、定期テスト (2) 振り返りシート	5
																		A読むこと（2）イ、エ				読み比べる・十訓抄	(1) ワークシート、振り返りシート	3				
7	評論（一）				●	●										●										俊賴髄脳 歌のよしあし	(1) ワークシート、定期テスト (2) 振り返りシート	6
9	諸家の思想			●				●					●													孟子 性善	(1) ワークシート、定期テスト (2) 振り返りシート	5
10															●											韓非子 侵官之害	(1) ワークシート、定期テスト (2) 振り返りシート	6
		物語（五）			●				●					●												大鏡 三舟の才	(1) ワークシート、定期テスト	6
11	諸家の文章			●		●		●																		売柑者言	(1) ワークシート、定期テスト (2) 振り返りシート	8
																		A読むこと（2）ア、キ				文章表現のいろいろ	(1) ワークシート、振り返りシート	3				
12	評論（二）		●					●		●																去来抄 行く春を	(1) ワークシート、定期テスト	5
12	評論（一）	●					●								●											無名草子 紫式部	(1) ワークシート、振り返りシート	7
																		A読むこと（2）エ、オ				古典にみる人物像	(1) ワークシート、振り返りシート	3				

国語科年間指導計画【古典探究演習】

■単位数	■使用教科書
2単位	共通テスト+センター試験国語過去問題 古典（尚文出版）
■目標	言葉による見方・考え方を働かせ、言語活動を通して、国語での確に理解し効果的に表現する資質・能力を次のとおり育成することを目指す。 (1)生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、我が国の伝統的な言語文化に対する理解を深めることができるようにする。 (2)論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、古典などを通して先人のものの見方、感じ方、考え方との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。 (3)言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって古典に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚を深め、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。

■内容
〔知識及び技能〕 (1)言葉の特徴や使い方に関する次の事項を身に付けることができるよう指導する。 ア 古典に用いられている語句の意味や用法を理解し、古典を読むために必要な語句の量を増すことを通して、語感を磨き語彙を豊かにすること。 イ 古典の作品や文章の種類とその特徴について理解を深めること。 ウ 古典の文の成分の順序や照応、文章の構成や展開の仕方について理解を深めること。 エ 古典の作品や文章に表れている、言葉の響きやリズム、修辞などの表現の特色について理解を深めること。 (2)我が国の言語文化に関する次の事項を身に付けることができるよう指導する。 ア 古典などを読むことを通して、我が国の文化の特質や、我が国の文化と中国など外国の文化との関係について理解を深めること。 イ 古典を読むために必要な文語のきまりや訓詁のきまりについて理解を深めること。 ウ 時間の経過による言葉の変化や、古典が現代の言葉の成り立ちにもたらした影響について理解を深めること。 エ 先人のものの見方、感じ方、考え方に親しみ、自分のものの見方、感じ方、考え方を豊かにする読書の意義と効用について理解を深めること。 〔思考力、判断力、表現力等〕 A 読むこと (1)読むことに関する次の事項を身に付けることができるよう指導する。 ア 文章の種類を踏まえて、構成や展開などを的確に捉えること。 イ 文章の種類を踏まえて、古典特有の表現に注意して内容を的確に捉えること。 ウ 必要に応じて書き手の考えや目的、意図を捉えて内容を解釈するとともに、文章の構成や展開、表現の特色について評価すること。 エ 作品の成立した背景や他の作品などとの関係を踏まえながら古典などを読み、その内容の解釈を深め、作品の価値について考察すること。 オ 古典の作品や文章について、内容や解釈を自分の知見と結び付け、考えを広げたり深めたりすること。 カ 古典の作品や文章などに表れているものの見方、感じ方、考え方を踏まえ、人間、社会、自然などに対する自分の考えを広げたり深めたりすること。 キ 関心をもった事柄に関連する様々な古典の作品や文章などを基に、自分のものの見方、感じ方、考え方を深めること。 ク 古典の作品や文章を多面的・多角的な視点から評価することを通して、我が国の言語文化について自分の考えを広げたり深めたりすること。

■評価の観点とその趣旨

(1) 知識・技能	生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、我が国の伝統的な言語文化に対する理解を深めることができる。
(2) 思考・判断・表現	「読むこと」の領域において、論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、古典などを通して先人のものの見方、感じ方、考え方との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができる。
(3) 主体的に学習に取り組む態度	言葉を通じて積極的に他者と関わったり、思いや考えを深めたりしながら、言葉のもつ価値への認識を深めようとしているとともに、進んで読書に親しみ、言葉を効果的に使おうとしている。

■指導計画

月	単元名	知識及び技能				思考力、判断力、表現力等				言語活動	教材	評価の観点及び評価方法	配当 予定 時数									
		(1)				(2)								読むこと								
		ア	イ	ウ	エ	ア	イ	ウ	エ	ア	イ	ウ	エ	オ	カ	キ	ク	ア	イ	ウ	エ	オ
4	古文、漢文解釈の基礎を固める	●	●		●				●								古典の作品や文章を読み、解釈に 関して疑問に感じたことについて 説明する。	平成30年本試験 古文 平成30年本試験 漢文 平成30年追試験 古文	(1) 小テスト、定期テスト (2) 定期テスト、ペアワーク (3) ワークシート、ペアワーク	6		
5																	平成30年追試験 漢文 平成31年本試験 古文 平成31年本試験 漢文	(1) 小テスト、定期テスト (2) 定期テスト、ペアワーク (3) ワークシート、ペアワーク		8		
6	解答時間を意識して共通テスト 形式の問題に慣れる	●	●		●				●						●		和歌の解釈に必要な修辞技巧につ いてまとめ、発表する。		平成31年追試験 古文 平成31年追試験 漢文 令和2年本試験 古文 令和2年本試験 漢文		10	
7																		令和2年追試験 古文 令和2年追試験 漢文	(1) 小テスト、定期テスト (2) 定期テスト、ペアワーク (3) ワークシート、ペアワーク	4		
9	演習力（選択肢の選び方、語 注・資料の利用の仕方）を身に 付ける	●	●	●	●	●			●	●		●	●	●			漢詩の解釈についての疑問点を書 き出し、きまりについてまとめ る。	令和3年第一日程 古文 令和3年第一日程 漢文 令和3年第二日程 古文 令和3年第二日程 漢文		10		
10																	令和3年第二日程 漢文 令和3年特例追試 古文 令和3年特例追試 漢文	10				
11	演習力（選択肢の選び方、語 注・資料の利用の仕方、和歌の 解釈・修辞、文学史の知識）を 高める	●	●	●	●	●			●	●		●	●	●			日記や歴史物語の文章を読んで、 当時の人々の生活を知り、興味を もったことを調べる。			令和4年本試験 古文 令和4年本試験 漢文 令和4年追試験 古文 令和4年追試験 漢文 令和5年本試験 古文 令和5年本試験 漢文 令和5年追試験 古文	(1) 小テスト、定期テスト (2) 定期テスト、ペアワーク (3) ワークシート、ペアワーク	10
12																		令和5年追試験 漢文 令和6年本試験 古文		4		
1	演習を通して古典の文章を 楽しむ	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	百人一首競技を楽しむ。 百人一首の和歌について調べ、発 表する。	令和6年本試験 漢文 令和6年追試験 古文 令和6年追試験 漢文 小倉百人一首	(1) 小テスト、定期テスト (2) 定期テスト、ペアワーク (3) 百人一首レポート、 グループワーク	8		

国語科年間指導計画【伊豆と文学】

■単位数

2単位

■使用教科書

川端康成「伊豆の旅」(中公文庫)

■目標

言葉による見方・考え方を働かせ、言語活動を通して、国語で的確に理解し効果的に表現する資質・能力を次のとおり育成することを目指す。

- (1) 実社会に必要な国語の知識や技能を身に付けるようにする。
(2) 論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。
(3) 言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。

■内容

〔知識及び技能〕

- (1) 言葉の特徴や使い方に関すること
ア 言葉には、認識や思考を支える働きがあることを理解すること。
イ 話し言葉と書き言葉の特徴や役割、表現の特色を踏まえ、正確さ、分かりやすさ、適切さ、敬意と親しさなどに配慮した表現や言葉遣いについて理解し、使うこと。
ウ 常用漢字の読みに慣れ、主な常用漢字を書き、文や文章の中で使うこと。
エ 実社会において理解したり表現したりするために必要な語句の量を増すとともに、語句や語彙の構造や特色、用法及び表記の仕方などを理解し、話や文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにすること。
オ 文、話、文章の効果的な組立て方や接続の仕方について理解すること。
カ 比喩、例示、言い換えなどの修辞や、直接的な述べ方や婉曲的な述べ方について理解し使うこと。

- (2) 情報の扱い方に関すること
ア 主張と論拠など情報と情報との関係について理解すること。
イ 個別の情報と一般化された情報との関係について理解すること。
ウ 推論の仕方を理解し使うこと。
エ 情報の妥当性や信頼性の吟味の仕方について理解を深め使うこと。
オ 引用の仕方や出典の示し方、それらの必要性について理解を深め使うこと。

- (3) 我が国の言語文化に関すること
ア 実社会との関わりを考えるための読書の意義と効用について理解を深めること。

〔思考力、判断力、表現力等〕

- A 話すこと・聞くこと
ア 目的や場に応じて、実社会の中から適切な話題を決め、様々な観点から情報を収集、整理して、伝え合う内容を検討すること。
イ 自分の考えが的確に伝わるよう、自分の立場や考えを明確にするとともに、相手の反応を予想して論理の展開を考えるなど、話の構成や展開を工夫すること。
ウ 話し言葉の特徴を踏まえて話したり、場の状況に応じて資料や機器を効果的に用いたりするなど、相手の理解が得られるように表現を工夫すること。
エ 論理の展開を予想しながら聞き、話の内容や構成、論理の展開、表現の仕方を評価するとともに、聞き取った情報を整理して自分の考えを広げたり深めたりすること。
オ 論点を共有し、考えを広げたり深めたりしながら、話合いの目的、種類、状況に応じて、表現や進行など話合いの仕方や結論の出し方を工夫すること。
B 書くこと
ア 目的や意図に応じて、実社会の中から適切な題材を決め、集めた情報の妥当性や信頼性を吟味して、伝えたいことを明確にすること。
イ 読み手の理解が得られるよう、論理の展開、情報の分量や重要度などを考えて、文章の構成や展開を工夫すること。
ウ 自分の考えや事柄が的確に伝わるよう、根拠の示し方や説明の仕方を考えるとともに、文章の種類や、文体、語句などの表現の仕方を工夫すること。
エ 目的や意図に応じて書かれているかなどを確かめて、文章全体を整えたり、読み手からの助言などを踏まえて、自分の文章の特長や課題を捉え直したりすること。
C 読むこと
ア 文章の種類を踏まえて、内容や構成、論理の展開などについて叙述を基に的確に捉え、要旨や要点を把握すること。
イ 目的に応じて、文章や図表などに含まれている情報を相互に関係付けながら、内容や書き手の意図を解釈したり、文章の構成や論理の展開などについて評価したりするとともに、自分の考えを深めること。

■評価の観点とその趣旨

(1) 知識・技能	実社会に必要な国語の知識や技能を身に付けるようにしている。
(2) 思考・判断・表現	「話すこと・聞くこと」、「書くこと」、「読むこと」の各領域において、論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにしている。
(3) 主体的に学習に取り組む態度	言葉を通じて積極的に他者と関わったり、思いや考えを深めたりしながら、言葉のもつ価値への認識を深めようとしているとともに、進んで読書に親しみ、言葉を効果的に使おうとしている。

■指導計画

月	単元名	知識及び技能					思考力、判断力、表現力等								言語活動	教材	評価の観点及び評価方法	配当 予定 時数						
		(1)			(2)		(3)	話すこと・聞くこと		書くこと		読むこと												
		ア	イ	ウ	エ	オ	カ	ア	イ	ウ	エ	オ	ア	イ	ウ				エ	オ	ア	イ	ウ	エ
4	伊豆文学の概要 ①伊豆や静岡県東部に縁のある、作家・作品などを調べてまとめる。 ②プレゼンテーションも行う。			●	●				●		●	●	●		●			●			調べた結果を まとめ、発表 する	川端康成「伊豆の旅」ほか	(1)ワークシート (2)ワークシート (3)ワークシート	6
5	井上靖「あすなろ物語」 ①井上靖の生涯を調べる。 ②伊豆や沼津・三島を舞台にした小説を味わい、地元の歴史も知る。				●	●			●					●	●		●				物語の感想を 記入する。	井上靖「あすなろ物語」	(1)ワークシート (2)ワークシート (3)ワークシート	8
6	若山牧水の歌の鑑賞 ①漂泊の詩人、沼津で生を終えた牧水について調べ、歌を鑑賞する。 ②お気に入りの歌を選び、プレゼンテーションを行う。 ③「三島文芸」コンクールに応募する。						●			●		●		●	●						①牧水の歌の鑑賞文を、生涯と照らし合わせて発表する。 ②「三島文芸」コンクールに応募する。	若山牧水の名歌集 若山牧水記念文学館のリーフレット	(1)ワークシート、定期テスト (2)ワークシート、定期テスト (3)ノート内容	7
7	ビブリオバトル 伊豆に縁のある作家や作品を読み、面白かったものをビブリオバトル形式で発表する。	●			●			●			●	●				●		●			おすすめの伊豆文学を紹介しあう。	「静岡県高等学校ビブリオバトル」のリーフレットほか	(1)ワークシート (2)ワークシート (5)ノート内容	6
9 10	川端康成「伊豆の踊子」 ①川端康成の生涯を調べる。 ②伊豆を舞台にした小説を味わい、地元の歴史も知る。 ③作品の感想等を論じ合う。 ④「伊豆の踊子」を利用した町おこし」をプレゼンテーションする。						●	●			●	●			●						①文学の映像化についての是非を論じあう。 ②「伊豆の踊子」を利用した町おこしをプレゼンテーションする。	川端康成「伊豆の旅」	(1)ワークシート、定期テスト (2)ワークシート、定期テスト (3)振り返りシート、ノート内容	14
11	太宰治「老ハイデルベルヒ」 ①太宰治の生涯を調べる。 ②伊豆を舞台にした小説を味わい、地元の歴史も知る。 ③作品の感想等を論じ合う。				●	●			●					●	●		●					太宰治「老ハイデルベルヒ」	(1)ワークシート、定期テスト (2)ワークシート、定期テスト (3)振り返りシート、ノート内容	6
12	俳句を作ろう 俳句を作り、コンクールに提出する。			●			●										●				筆者の主張に対する自分の考えをまとめる	「現代の『世論操作』」	(1)ワークシート、定期テスト (2)ワークシート、定期テスト (3)振り返りシート、ノート内容	7
1	静岡県東部に文学館を作ろう ①文学館の企画書を作成する。 ②自分の考えた文学館をプレゼンテーションする。	●	●				●				●	●	●		●	●		●			①文学館の企画書を作成する。 ②自分の考えた文学館をプレゼンテーションする。	「神奈川県立近代文学館」のリーフレットほか		5

国語科年間指導計画【国語表現】

■単位数	■使用教科書
2単位	国語表現（東京書籍）
■目標	
言葉による見方・考え方を働かせ、言語活動を通して、国語で的確に理解し効果的に表現する資質・能力を次のとおり育成することを目指す。 (1) 実社会に必要な国語の知識や技能を身に付けるようにする。 (2) 論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、実社会における他者との多様な関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。 (3) 言葉をもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。	
■内容	
〔知識及び技能〕 (1) 言葉の特徴や使い方に関する事項 ア 言葉には、自己と他者の相互理解を深める働きがあることを理解すること。 イ 話し言葉と書き言葉の特徴や役割、表現の特色について理解を深め、伝え合う目的や場面、相手、手段に応じた適切な表現や言葉遣いを理解し、使い分けすること。 ウ 自分の思いや考えを多彩に表現するために必要な語句の量を増し、話や文章の中で使うことを通して、語感を磨き言葉を豊かにすること。 エ 実用的な文章などの種類や特徴、構成や展開の仕方などについて理解を深めること。 オ 省略や反復などの表現の技法について理解を深め使うこと (2) 我が国の言語文化に関する次の事項を身に付けることができるよう指導する。 ア 自分の思いや考えを伝える際の言語表現を豊かにする読書の意義と効用について理解を深めること。 〔思考力、判断力、表現力等〕 A 話すこと・聞くこと ア 目的や場に応じて、実社会の問題や自分に関わる事柄の中から話題を決め、他者との多様な交流を想定しながら情報を収集、整理して、伝え合う内容を検討すること。 イ 自分の主張の合理性が伝わるよう、適切な根拠を効果的に用いるとともに、相手の反論を想定して論理の展開を考えるなど、話の構成や展開を工夫すること。 ウ 自分の思いや考えが伝わるよう、具体例を効果的に配置するなど、話の構成や展開を工夫すること。 エ 相手の反応に応じて言葉を選んだり、場の状況に応じて資質や機嫌を効果的に用いたりするなど、相手の同意や共感が得られるように表現を工夫すること。 オ 論点を明確にして自分の考えと比較しながら聞き、話の内容や構成、論理の展開、表現の仕方を評価するとともに、聞き取った情報を吟味して自分の考えを広げたり深めたりすること。 カ 視点を明確にして聞きながら、話の内容に対する共感を伝えたり、相手の思いや考えを引き出したりする工夫をして、自分の思いや考えを広げたり深めたりすること。 キ 互いの主張や論拠を吟味したり、話合いの進行や展開を助たりするために発言を工夫するなど、考えを広げたり深めたりしながら、話合いの仕方や結論の出し方を工夫すること。 B 書くこと ア 目的や意図に応じて、実社会の問題や自分に関わる事柄の中から適切な題材を決め、情報の組合せなどを工夫して、伝えたいことを明確にすること。 イ 読み手の同意が得られるよう、適切な根拠を効果的に用いるとともに、反論などを想定して論理の展開を考えるなど、文章の構成や展開を工夫すること。 ウ 読み手の共感が得られるよう、適切な具体例を効果的に配置するなど、文章の構成や展開を工夫すること。 エ 自分の考えを明確にし、根拠となる情報を基に的確に説明するなど、表現の仕方を工夫すること。 オ 自分の思いや考えを明確にし、事象を的確に描写したり説明したりするなど、表現の仕方を工夫すること。 カ 読み手に対して自分の思いや考えが効果的に伝わるように書かれているかを吟味して、文章全体を整えたり、読み手からの助言などを踏まえて、自分の文章の特長や課題を捉え直したりすること。 【言語事項】 A 話すこと・聞くこと ア 聴衆に対してスピーチをしたり、面接の場で自分のことを伝えたり、それらを聞いて批評したりする活動。 イ 他者に連絡したり、紹介や依頼などをするために話をしたり、それらを聞いて批評したりする活動。 ウ 異なる世代の人や初対面の人にインタビューをしたり、報道や記録の映像などを見たり聞いたりしたことをまとめて、発表する活動。 エ 話合いの目的に応じて結論を得たり、多様な考えを引き出したりのための議論や討論を行い、その記録を基に話合いの仕方や結論の出し方について批評する活動。 オ 設定した題材について調べたことを、図表や画像なども用いながら発表資料にまとめ、聴衆に対して説明する活動。 B 書くこと ア 社会的な話題や自己の将来などを題材に、自分の思いや考えについて、文章の種類を選んで書く活動。 イ 文章と図表や画像などに関係付けながら、金銭書や報告書などを作成する活動。 ウ 説明書や報告書の内容を、目的や読み手に応じて再構成し、広報資料などの別の形式に書き換える活動。 エ 紹介、連絡、依頼などの実務的な手紙や電子メールを書く活動。 オ 設定した題材について多様な資料を集め、調べたことを整理したり話し合ったりして、自分や集団の意見を提案書などにまとめる活動。 カ 異なる世代の人や初対面の人にインタビューをするなどして聞いたことを、報告書などにまとめる活動。	

■評価の観点とその趣旨	
(1) 知識・技能	実社会に必要な国語の知識や技能を身に付けるようにしている。
(2) 思考・判断・表現	「話すこと・聞くこと」、「書くこと」の各領域において、論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、実社会における他者との多様な関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにしている。
(3) 主体的に学習に取り組む態度	言葉のもつ価値への認識を深めようとするとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚を深めようとし、言葉を通して他者や社会に関わろうとしている。

指導計画																									
月	単元名	知識及び技能				思考力、判断力、表現力等						言語活動						教材	評価の観点及び評価方法	配当予定時数					
		(1)				(2)	(1) 話すこと・聞くこと			(2) 書くこと			(1)			(2)				話すこと 聞くこと	書くこと				
		ア	イ	ウ	エ		オ	ア	イ	ウ	エ	オ	カ	キ	ア	イ	ウ					エ	オ	カ	キ
4	分かりやすく説明しよう	●	●				●	●						●								情報の整理・伝達	ワークシート・振り返りシート	2	
	「自分」を表現しよう		●				●	●	●		●			●	●		●					自己PRと面接	スピーチ・模擬面接・振り返りシート	6	4
5																									
6	論理的な文章を書こう			●	●							●	●				●					小論文	小論文・振り返りシート		8
7	表現と読書活動			●		●				●			●		●			●				ブックトーク	製作物・発表	2	4
				●						●	●							●				広告・PR表現	製作物・振り返りシート		5
9	「問い」を考えよう		●				●		●	●			●		●					●		インタビュー	ワークシート・振り返りシート	2	2
			●		●							●							●			手紙	ワークシート・振り返りシート		3
10	情報活用力を身につけよう		●							●								●	●			広報資料・新聞	製作物・発表・振り返りシート		8
11	説得力のある提案をしよう		●				●	●	●				●			●	●					プレゼンテーション	製作物・発表・振り返りシート	4	6
12	話し合う力をつけよう	●	●				●		●	●				●								ファシリテーション	話し合いの様子・振り返りシート	4	
	表現を楽しもう			●		●						●	●			●						俳句	作品・振り返りシート		6
2																									

□「話すこと・聞くこと」に関する指導の予定単位時間数		20	時間（20～25単位時間程度 ※2単位換算）	20	46
□「書くこと」に関する指導の予定単位時間数		46	時間（45～50単位時間程度 ※2単位換算）		
□「読むこと」に関する指導の予定単位時間数			時間		